

地産地消に向けた「コープの産直」の取り組みが 「令和3年度地産地消等優良活動表彰」関東農政局長賞を受賞

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫)は、全国607産地・生産者団体と、520万人の組合員とともに、つくる人(生産者)とつかう人(組合員・消費者)をつなげ、地産地消をはじめとする持続可能な農畜水産物の生産・消費に向けた「コープの産直」に取り組んでいます。この取り組みが、農林水産省の主催する「令和3年度地産地消等優良活動表彰」において、関東農政局長賞を受賞しました。



配達担当者による視察研修会の様子

「地産地消等優良活動表彰」は、地産地消や国産農林水産物・食品の消費拡大の更なる推進に向け、全国から募集した取り組みのうち、利用促進による消費拡大等の観点で特に優れたものを表彰する制度です。(参考 URL: <https://www.maff.go.jp/kanto/press/keiei/chiikisyokuhin/220210.html>)

コープデリと会員生協では、1970年代から「産直」の取り組みを進めています。産直とは、生産者とコープ、組合員がつながり、安全性が確保され、おいしさと環境配慮を兼ね備えた、生き立ちがはっきりわかる農畜水産物をお届けする取り組みのことです。コープデリは、全国607の産地・生産者団体とともに産直を進め、つくる人(生産者)とつかう人(組合員・消費者)をつなげ、地産地消をはじめとする持続可能な農畜水産物の生産・消費に向けた取り組みを進めています。

その中でも特にこだわった商品が、「産直 畑まるごともぎっことトマト」です。この商品は、40年以上にわたりコープデリの産直品を生産し、特にトマト作りで実績のある埼玉産直センターとともに、よりこだわった商品の開発を模索する中で、2013年に誕生しました。見た目よりもおいしさにこだわり、選果場で選別する手間を省くことで、樹上でぎりぎりまで熟度を上げて収穫、箱詰めし、出荷翌日に組合員にお届けすることで、「畑のトマト本来の姿を組合員の皆さんに伝える」商品です。「完熟で味が濃くおいしい」「おいしいばかりでなく値段も安くてびっくり」と好評です。



「産直 畑まるごともぎっことトマト」

「コープの産直」の詳細は公式 HP (<https://www.coopnet.jp/product/product2018/sanchoku/>) をご参照ください。

コープデリ生活協同組合連合会 概要

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
- 【理 事 長】 土屋 敏夫(つちや としお)
- 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ
- 【総事業高】 6,286 億円(7 会員生協事業高計) ※2020 年度
- 【組合員数】 520 万人(会員生協組合員計) ※2022 年 1 月 20 日現在
- 【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>